

科目名：会社法	講義	担当教員名 佐藤一明	実務経験 有
2年次 3期	30時間	必修	
授業の到達目標及びテーマ ①株主、取締役・取締役会、代表取締役等、会社法の基本的な用語を理解できる。 ②会社、株主、会社債権者の利害調整を、会社法が、どのように規定しているかについて説明できる ③テレビ、新聞やニュースで話題となっている企業に関する時事問題について、何故それが法律上問題となるのか、その責任は誰が負うのか説明できる。 ④将来企業の実務を担当するにあたり、会社実務の基礎的知識を身につける。			
授業の概要 ①株式会社は、どのように設立され、どのように運営されているのか、また出資者である株主や会社債権者を保護するために法はどのような規制を設けているのか理解する。 ②実際に自分の会社を設立して、発表することにより現実の会社法の運用を理解できるように学ぶ。 ③ビジネスに必要な用語やスキームを理解し、新聞の経済面を楽しく読み解くことができる。			
授業計画			
1	自然人 と 法人	事例研究	高校生が設立した会社 ネクタイのデザインと販売
2	会社の一生	事例研究	会社の胎児 誕生、病気 死亡
3	会社の組織	ピラミッド 事例研究	会社 所有と経営の分離
4	会社の種類	株式会社 合同会社 合名会社 合資会社 事例研究 発表	私の作る会社はどの形態にするか
5	会社を作ってみよう	定款 事例研究	目的の書き方ポイント
6	会社を作ってみよう	定款 事例研究	取締役、代表取締役は誰にするか
7	会社を作ってみよう	発表 事例研究	設立した会社の発表会
8	株主 株主総会	取締役 代表取締役 監査役 事例研究	三権分立と会社の機関を比較してみよう
9	会社の乗っ取り	事例研究	会社の乗っ取りを防止する対策
10	取締役の第三者責任	事例研究	会社倒産の時、取締役の責任
11	取締役の第三者責任と保証人の責任	事例研究	会社の保証人の責任
12	会社の相続	事例研究	父が長男に会社を継承させたいとき
13	コロナの不況を乗り切る対策 1回	事例研究	ELECOM、社 ZOOM 社
14	コロナの不況を乗り切る対策 2回	事例研究	ニトリ、 ドトールコーヒ
15	テスト		
テキスト 1冊 ノートを準備する			
使用教具・参考書等			
講義は、板書とスクリーンでのスライドを用いて行う。受講者は、スライドと板書をもとにノートを作成。			
評価の方法と基準 平常点、発表等授業参加の姿勢、出席率 テスト を総合的に判断			